

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2023.10.9-15

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

5:1 わが子よ、注意して私の知恵を聞け。
私の英知に耳を傾けよ。
5:2 あなたが思慮深さを守り、あなたの唇が知識を保つために。
5:3 よその女の唇は蜂の巣の蜜を滴らせ、その口は油よりも滑らかだが、
5:4 終わりにには苦よもぎのように苦くなり、両刃の剣のように鋭くなるからだ。
5:5 この女の足は死に下って行き、その足取りはよみをつかみ取る。
5:6 その女はいのちの道に心を向けない。彼女が通う道はあてどもなくさまよう。しかし彼女は、それを知らない。
5:7 子たちよ、今、私に聞け。私の口のことばから離れるな。
5:8 あなたの道をこの女から遠ざけ、その家の戸口に近づくな。
5:9 そうでないと、あなたは自分の誉れを他人に渡し、あなたの年月を残忍な者に渡すことになる。
5:10 また、他人があなたの富で満たされ、あなたの労苦の実は見知らぬ者の家に渡る。
5:11 そして、あなたの終わりにあなたはうめく。あなたの肉とからだが減びるとき。
5:12 そのとき、あなたは言う。「ああ、私は訓戒を憎み、私の心は叱責を侮った。
5:13 自分の教師の声に聞き従わず、自分を教える者に耳を傾けなかった。
5:14 私は、集会、会衆のただ中にもあっても、ほとんど最悪の状況であった」と。
5:15 あなた自身の水溜めから水を飲め。流れ出る水を、あなた自身の井戸から。
5:16 あなたの泉を外に散らし、広場を水路に

してよいものか。

5:17 それを自分だけのものにせよ。あなた
のところにいる他人のものにするな。
5:18 あなたの泉を祝福されたものとし、あ
なたの若いときからの妻と喜び楽しめ。
5:19 愛らしい雌鹿、麗しいかもしか。彼女
の乳房がいつもあなたを潤すように。あな
たはいつも彼女の愛に酔うがよい。
5:20 わが子よ。どうしてよその女に夢中
になり、見知らぬ女の胸を抱くのか。
5:21 人の道は【主】の御目の前にあり、主
はその道筋のすべてに心を向けてくださる。
5:22 悪しき者は自分の咎に捕らえられ、自
分の罪の縄に捕まえられる。
5:23 その人は訓戒を受け入れることなく死
に、あまりの愚かさゆえに道から迷い出る。

他国の女とは、異邦人の女性のことで、それは全く信仰も価値観も違うということです。特に男女の恋愛や結婚はお互いの価値観に影響され易いので、気をつけるようにということです。その相手は「いのちの道に心を向けない。」し、「あてどもなくさまよう。」からです。

自分は大丈夫だと過信することを、ここではいさめています。「その家の門に近づくな」ということばです。危ないことをしてはなりません。ただし男女の愛を否定するものではありません。「若いときの妻と喜び楽しめ」とありますから、本来の結婚の関係は祝福であって、そこにこそ人生の喜びと楽しみがあるのです。祝福の結婚、また家庭生活を信じて、主のみこころを行いましょ

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 10日 火曜

箴言

6:1 わが子よ。もし、あなたが隣人のために保証人となり、他人のために誓約をし、
6:2 自分の口のことばによって、自分が罠にかかり、自分の口のことばによって、捕らえられたなら、
6:3 わが子よ、そのときにはすぐにこうして、自分を救い出せ。あなたは隣人の手に陥ったのだから。さあ行って、伏して隣人につくせがめ。
6:4 あなたの目を眠らせず、そのまぶたにまどろみを与えるな。
6:5 自分を救い出せ。かもしかが狩人の手から逃れるように、鳥がそれを捕る者の手から逃れるように。
6:6 怠け者よ、蟻のところへ行け。そのやり方を見て、知恵を得よ。
6:7 蟻には首領もつかさも支配者もないが、
6:8 夏のうちに食物を確保し、刈り入れ時に食糧を集める。
6:9 怠け者よ、いつまで寝ているのか。いつ目を覚まして起き上がるのか。
6:10 少し眠り、少しまどろみ、少し腕を組んで、横になる。
6:11 すると、付きまとう者のように貧しさが、武装した者のように乏しさがやって来る。
6:12 よこしまな者や不法の者は、曲がったことを言って歩き回り、
6:13 目くばせをし、足で合図し、指でさす。
6:14 そのねじれた心は、いつも悪を企み、争いをまき散らす。
6:15 それゆえ、破局は突然やって来る。たちまち彼は滅ぼされ、癒やされることはない。
6:16 【主】の憎むものが六つある。いや、主



ご自身が忌み嫌うものが七つある。
6:17 高ぶる目、偽りの舌、咎なき者の血を流す手、
6:18 邪悪な計画をめぐらす心、悪へと急ぎ走る足、
6:19 まやかしを吹聴する偽りの証人、兄弟の間に争いを引き起こす者。

世には多くの罠がありますから、気をつけなければなりません。全章では結婚と家庭のことが話題になっていますから、ここでも家庭を守るという観点から考えることができます。隣人も大切ですが、家庭を犠牲にして成り立つものではありません。

わなにかかったなら、「伏して」とありますから、自分のプライドをすてても、何とかするべきだということです。苦境に陥ったときの姿勢を教えています。主による希望があるので、これができるのです。また主によって成長させていただけなので、そのような行動に価値が生まれるのです。さらには、私たちは主の子どもであり価値あるものと主が認めてくださいます。伏してお願いすることで、尊厳に傷がつくことはありません。

なまけ者への警告があります。蟻などの自然から多く学ぶことができます。主が造られて、主が背後に働いておられる、自然界ですから、一日のうちに多くのことがらを主から学びましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11日 水曜

箴言



6:20 わが子よ、あなたの父の命令を守れ。
あなたの母の教えを捨ててはならない。
6:21 それをいつも心に結び、首に結び付けよ。
6:22 あなたが歩くときには、それがあなたを
導き、寝ているときには、あなたを見守り、
目覚めるときには、あなたに話しかける。
6:23 命令はともしび、おしえは光、訓戒のた
めの叱責は、いのちの道であるからだ。
6:24 それはあなたを悪い女から、見知らぬ女
の滑らかな舌から守る。
6:25 その女の美しさを心に慕うな。そのまぶ
たに捕らえられないようにせよ。
6:26 遊女の代償はひとかたまりのパンだが、
人妻は尊いいのちをつけ狙うからだ。
6:27 人が火を懐にかき込んだら、その衣服は
焼けないだろうか。
6:28 もし人が、燃えている炭火の上を歩いたら、
その足は焼けないだろうか。
6:29 隣人の妻と姦淫する者は、これと同じこ
と。その女に触れる者はだれも罰を免れない。
6:30 盗人が飢え、食欲を満たすために盗みをし
たら、人々はその者を蔑まないだろうか。
6:31 見つかったら、彼は七倍を償い、自分の
家の全財産を与えなければならない。
6:32 女と姦淫する者は良識がない。自分自身
を滅ぼす者がこれを行う。
6:33 彼は傷と恥辱を受ける。彼の汚名は消し
去ることができない。
6:34 女の夫は嫉妬から激しく憤り、復讐する
とき、容赦をしない。
6:35 彼はどんな償い物も受けつけず、あなた
が多くのご贈り物をして、受け入れない。

きな損害を被る罪であり、危険なものであること
を知る必要があります。

「…美しさを心に慕うな」とあります。ドラマ
や映画では、まるで美しいものであるかのように
描かれることがありますが、現実は違います。そ
れは「思慮にかけている」愚かな行為であり、
「傷と恥辱を受け」るような醜い行為なのです。

その点においても父、母の命令を守ることが大
切であると述べられています。良い教えに耳を傾
けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 12日 木曜

箴言

7:1 わが子よ。私のことばを守り、私の命令をあなたのうちに蓄えよ。
7:2 私の命令を守って生きよ。私の教えを、自分の瞳のように守れ。
7:3 それを自分の指に結び、心の板に書き記せ。
7:4 知恵に向かって「あなたは妹だ」と言い、英知に向かって「身内」と呼べ。
7:5 自分をよその女から守り、ことばの滑らかな、見知らぬ女から守るために。
7:6 私が家の窓から、格子窓から見下ろして、
7:7 浅はかな者たちを見ていると、若者たちのうちに、良識のない一人の若い者がいるのに気づいた。
7:8 彼は、女の家への曲がり角近くの街路を通過して、その家に至る道を進んで行った。
7:9 それは、たそがれの、日の沈むころ、夜と暗闇の始まるころだった。
7:10 すると、遊女の装いをして、本心を隠したある女が彼を迎えた。
7:11 この女は騒がしく、頑なで、その足は自分の家にとどまらず、
7:12 あるときは通りに、あるときは広場において、あちこちの角のところで待ち構えていた。
7:13 この女は彼を捕まえて口づけし、臆面もなく彼に言う。
7:14 「交わりのいけにえを献げなければならぬので、私は今日、自分の誓願を果たしました。
7:15 それで私はあなたに会いに出て来ました。あなたを捜し求めて、やっと見つめました。
7:16 私は長椅子に敷き物を、あや織りのエジ



プトの亜麻布を敷き、
7:17 寝床を没薬、アロエ、シナモンで香らせました。
7:18 さあ、私たちは朝まで愛に酔いしれ、愛の喜びを互いに味わいましょう。
7:19 夫は遠くへ旅に出ている、家にはいませんから。
7:20 金の袋を持って行きました。満月のころに帰って来るでしょう」と。
7:21 彼女は心動かすことばで彼を誘惑し、滑らかな唇で彼をいざなう。
7:22 彼はただちに、彼女の後について行く。牛が屠り場に引かれて行くように、足かせが愚かな者を懲らしめているかのように。
7:23 最後は矢が彼の肝を射抜く。それは、自分のいのちがかかっているのを知らずに、鳥が罠に飛び込むようなものだ。
7:24 子たちよ。今、私に聞き従い、注意して私の口のことばを聞け。
7:25 彼女の道に、心がそれて行ってはならない。その通り道に迷い込んではいならない。
7:26 この女は多くの者を切り倒し、殺された者は数えきれない。
7:27 その女の家はよみへの道。死の部屋に下って行く。

若者が女性に誘惑されて間違った関係になってゆく様子を、警告しつつ描写されています。そのような若者は「良識がない」と言います。ここにはたくさん誘惑のことばがあり、また誘惑の状況が述べられています。どんなに心がときめくような状況でも、結果は悲惨なものです。「この女は多くの者を切り倒し、殺された者は数えきれない。」とありますから、その人生を狂わせられた者が多いということです。そのような異性と関わってはなりません。

これもまた「わが子よ。」というように、愛を持って後進に教えるべきことでもあります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 13日 金曜

箴言

8:1 知恵は呼びかけないだろうか。英知はその声をあげないだろうか。
8:2 知恵は、道の傍らにある丘の上、通りの四っ角に立ち、
8:3 町の入り口にある門のそば、正門の入り口で高らかに言う。
8:4 「人々よ、わたしはあなたがたに呼びかける。人の子らに向かって声をあげる。
8:5 浅はかな者たちよ、賢さを身につけよ。愚かな者たちよ、良識をわきまえよ。
8:6 聞け。わたしは高貴なことを語り、わたしの唇からは公正が出るからだ。
8:7 まことに、わたしの口は真実を告げ、わたしの唇は不義を忌み嫌う。
8:8 わたしの口のことばはみな正しい。そこには、ねじれたことや曲がったことはない。
8:9 これらはみな、悟る者には当然のこと。知識を見出す者には正しいこと。
8:10 金ではなく、わたしの訓戒を受けよ。選り抜きの黄金よりも、知識を受けよ。
8:11 知恵は真珠にまさり、どんな喜びも、これとは比べられないからだ。
8:12 知恵であるわたしは賢さを住まいとする。そこには知識と思慮がある。
8:13 【主】を恐れることは悪を憎むこと。わたしは高ぶりと、おごりと、悪の道と、ねじれごとを言う口を憎む。
8:14 摂理と知性はわたしのもの。わたしは英知であり、わたしには力がある。
8:15 わたしによって、王たちは治め、君主たちは正義を定める。
8:16 わたしによって、君主たちは支配する。高貴な人々も、義のすべてのさばき人もそう



だ。
8:17 わたしを愛する者を、わたしは愛する。わたしを熱心に捜す者は、わたしを見出す。
8:18 富と誉れはわたしとともにある。朽ちない財宝も義も。
8:19 わたしの果実は黄金よりも、純金よりも良く、わたしの産物は選り抜きの銀にまさる。
8:20 わたしは義の道を歩む。公正の通り道のただ中を。
8:21 それは、わたしを愛する者に財産を受け継がせ、彼らの宝庫を満たすためである。

「知恵は呼びかけないだろうか…」と、私たちが普通に生活していても、知恵は隠されてはならず、常に私たちの心に与えられているということが述べられています。私たちは概ね分かっているのです。

何が違いを生むかと言うと、知恵に従うかどうかなのです。従わないことが問題です。すでに与えられている、警告や分別などは主からのものですから、その知恵にしがいきましょう。

12節以降は知恵がどんなにすばらしいものであるかが述べられています。知恵を大切にしましょう。知恵、分別、知識、思慮、摂理、知性を磨きましょう。メッセージと分かち合い、ディボーションと分かち合い、学びや信仰書などの読み物、神の価値観に根ざした映画や漫画、セミナーや聖会などなど、多くの学びの機会がありますから、それらを謙遜にそして積極的に活かしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



14日 土曜

箴言

8:22 【主】は、ご自分の働きのはじめに、そのみわざの最初に、わたしを得ておられた。
8:23 わたしは、大昔に、初めに、大地の始まりの前に、立てられていた。
8:24 まだ深淵もなく、水のみなぎる源もなかったとき、わたしは生み出された。
8:25 山が立てられる前に、丘より先に、わたしは生み出された。
8:26 主がまだ地も野原も、世界の最初のちりも造っておられなかったときに。
8:27 主が天を堅く立てられたとき、わたしはそこにいた。主が深淵の面に円を描かれたとき、
8:28 上の方に大空を固め、深淵の源を堅く定められたとき、
8:29 海にその境界を置き、その水が主の仰せを越えないようにし、地の基を定められたとき、
8:30 わたしは神の傍らで、これを組み立てる者であった。わたしは毎日喜び、いつも御前で楽しんでいた。
8:31 主の地、この世界で楽しみ、人の子らを喜んだ。
8:32 子たちよ、今、わたしに聞き従え。幸いなことよ、わたしの道を守る者は。
8:33 訓戒を聞け。知恵を得よ。これをなおざりにしてはならない。
8:34 幸いなことよ。日々わたしの戸の傍らで見張り、わたしの門の柱のわきで見守って、わたしの言うことを聞く人は。
8:35 なぜなら、わたしを見出す者はいのちを見出し、【主】から恵みをいただくが、
8:36 わたしに背を向ける者は自分自身を痛め



つけ、わたしを憎む者はみな、死を愛するからだ。」

知恵というものが、力ある自立した存在であることを表すために、これまでも知恵を擬人化して表現していましたが、ここに至って、知恵が「みわざの初めから…立てられ…深淵もまだなく、水のみなぎる源もないとき…すでに生まれていた」とありますから、この知恵はヨハネの福音書にある「ことば＝ロゴス」であることが分ります。すなわち、主イエスのことです。

知恵の究極は、神の知恵であり、神の知恵を顕在化されたイエスなのです。ですから、この世で一番知恵のある者は、イエス様と親しく交わり、イエス様に従う人であるということが分ります。

主イエスは私たちに、「わたしを見いだす者は、いのちを見いだし、主から恵みをいただくからだ。わたしを見失う者は自分自身をそこない、わたしを憎む者はみな、死を愛する。」と、ねんごろに語ってくださいます。イエス様と今日も親しく交わらせていただきますよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



15日 日曜

箴言

- 9:1 知恵は自分の家を建て、石の柱を七本、切り出し、
9:2 いけにえを屠り、ぶどう酒を混ぜ合わせ、その食卓も整え、
9:3 侍女たちにことづけて、町の最も高い所で呼びかけさせた。
9:4 「浅はかな者はみな、ここに来なさい」と。また、良識のない者に言った。
9:5 「さあ、わたしのパンを食べなさい。わたしが混ぜ合わせたぶどう酒を飲みなさい。
9:6 浅はかさを捨てて、生きなさい。分別のある道を、まっすぐに歩みなさい」と。
9:7 嘲る者を戒める者は、自分が恥辱を受け、悪しき者を叱る者は、自分が傷を受ける。
9:8 嘲る者を叱るな。彼があなたを憎まないために。知恵のある者を叱れ。彼はあなたを愛する。
9:9 知恵のある者に与えよ。彼はますます知恵ある者となる。正しい人を教えよ。彼は洞察を深める。
9:10 【主】を恐れることは知恵の初め、聖なる方を知ることは悟ることである。
9:11 わたしによって、あなたの日は多くなり、あなたのいのちの年が加えられるからだ。
9:12 あなたが知恵を得るなら、自分のために知恵を得ることになり、嘲るなら、自分だけが責めを負うことになる。
9:13 愚かな女は騒がしく、わきまえがなく、何も知らない。
9:14 その女は自分の家の戸口に座り、町の高い所にある座に着き、
9:15 道行く人々に呼びかけて言う。自分の道をまっすぐ歩く人々に。



- 9:16 「浅はかな者はみな、ここに来なさい」と。また良識のない者に向かって、この女は言う。
9:17 「盗んだ水は甘く、こっそり食べるパンはうまい」と。
9:18 しかし彼は、そこに死者の霊がいることを、その女の客がよみの深みにいることを、知らない。

知恵が「ここに来なさい」と、まるで人々を誘うようにして、その存在を明かにします。誰もが知恵に出会い、これを得ることができるということです。チャンスがなかったというのではなく、それを受け入れたかどうかが問われるのです。

「知恵のある者を叱れ」、「正しい人を教えよ」とあります。これは誰もが経験することで、人に教えても無駄であったというような経験からきていることばでしょう。人は自ら受け入れる思いのある人でないと、どんなに親切で教えてあげても無駄なのです。むしろ、それを受け入れる用意のある人こそ、教え導いてあげるべきです。

これらの知恵は特に神を恐れることに関連します。福音はたましいの備えができていない人に伝える必要があります。説得で人は変わらないからです。主が備えておられるたましいが、誰であるかを知る必要があります。

思慮の欠けた女性について警告が書かれてあります。そのような人は女性に限らず、騒がしいほどに自分や感情を表すでしょう。しかし知恵がないので、すなわち神さまを恐れていないので、永遠の命の価値観からははずれています。思慮深く接する必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

